

アグリノベーション活用型営農モデル推進事業

福島県営農再開支援事業（先端技術等を活用した大規模な営農再開拠点構築に向けた支援）実施概要

令和5年8月10日

福島県農業振興課

事業名		アグリノベーション活用型営農モデル推進事業		福島県営農再開支援事業（先端技術等を活用した大規模な営農再開拠点構築に向けた支援）				
採択年度		平成30年度	平成30年度	令和元年度	令和元年度	令和元年度	令和2年度	令和4年度
事業実施主体		ふくしま未来農業協同組合		株式会社福島しろはとファーム	有限会社I Loveファームおだか	福島さくら農業協同組合	株式会社飯崎生産組合	株式会社塚野組
実施体制 (コンソーシアム、連携企業)		生産:(有)荒井農産 南相馬ねぎ出荷組合 (株)アグリサービスそうま 流通:全国農業協同組合連合会福島県本部 実需:(株)あらき (株)TFY マルアキフーズ(株) 機械メーカー:(株)マツモト 種苗メーカー:トキタ種苗(株)	生産:マルヤス産業(株) 実需:(株)ビックスコーポレーション (株)荒井食品 (株)ライフフーズ (株)鈴商グリーン (株)マルズ・ジョイフード (株)タテノコーポレーション 機械メーカー:ヤンマーアグリジャパン(株) 資材メーカー:(株)ヤマニ (株)タテノコーポレーション	生産:(株)福島しろはとファーム 実需:流通:白ハト食品工業(株) 実需:(株)なめがたしろはとファーム 機械メーカー:ヤンマーアグリジャパン(株) 資材供給:福島さくら農業協同組合 運営:(一社)ならはみらい	生産:(有)I Loveファームおだか 流通:(株)北海道産直センター 機械メーカー:ヤンマーアグリジャパン(株) ホシザキ東北(株) 種苗メーカー:(有)今川屋種苗店 行政:相双農林事務所	生産:浪江町タマネギ生産組合 流通:全国農業協同組合連合会福島県本部 (株)鈴商グリーン (株)マルマサフード (株)平果 機械メーカー:(株)キセキ東北 サークル機工(株) ヤマハ発動機(株) 東日本電信電話(株) 種苗メーカー:カネコ種苗(株) アドバイザー:相双農林事務所、町村、JA福島中央会	生産:(株)飯崎生産組合 流通:ふくしま未来農業協同組合 機械メーカー:ヤンマーアグリジャパン(株) 行政:相双農林事務所	生産:(株)塚野組 流通:ふくしま未来農業協同組合 機械メーカー:ヤンマーアグリジャパン(株) 行政:相双農林事務所
対象市町村		新地町・相馬市・南相馬市		楢葉町	南相馬市	浪江町	南相馬市	南相馬市
これまでの取組 (営農実績)		H30:ネギ栽培 参加法人でH29に5.0ha、H30に9.4haを栽培。 市場出荷中心、一部試験的に業務用の出荷を開始。	H29:野菜栽培等 天栄村を中心に土地利用型野菜(キャベツ、白菜、カブ、ダイコン等)を30ha栽培。出荷は全て業務加工用。H30に広野・いわきで新たに栽培開始。H30:6.4ha	H30:サツマイモ 約11ha H30年に福島県楢葉町に支社を設置(本社は宮崎県)。楢葉町から農地の紹介を受けH29年から栽培開始。	H30:農地の集積60ha、H31春作分ブロックリー育苗 H12年に南相馬市小高区で栽培開始し、H22年に直営農場88ha、契約栽培42haの取り扱い実績がある。	H30:タマネギ 3.1ha(双葉地域) H30年から双葉地区で本格的に栽培開始、機械整備を進めている。	R1:水稲20ha、大豆25ha、タマネギ0.5haを栽培。 H26より大豆栽培を開始。その後、H27より水稲、H30よりタマネギの栽培を行っている。	R3:水稲30ha、ネギ0.1ha。 令和3年度よりネギ栽培を開始。
先端技術導入		・自動操舵機能付き管理機、マルチキッド付きカルチャー、定植、防除、堀取等の管理機、ネギ調製機(皮むき、選果機による省力化)	・ハクサイ高性能収穫機、定植、中耕、除草等の管理機械による省力化 ・ほ場管理システムによる環境測定(温度・湿度・土壌水分を測定)	・自動操舵トラクターによる省力化 ・ドローンによる生育把握、防除 ・衛星画像によるデンプン含有率把握 ・ほ場管理システムによる環境測定	・自動操舵トラクターによる省力化 ・ラジコン草刈り機による省力化 ・アシストスーツによる省力化 ・ほ場管理システムによる環境測定 ・高性能大型製氷装置の導入	・自動操舵トラクターによる省力化 ・ドローンによる生育把握、防除 ・ほ場管理システムによる環境測定 ・直播栽培による新たな栽培の検証	・ロボットトラクターによる省力化 ・自動操舵システムによる省力化 ・水管理システムによる省力化 ・ドローンによる生育把握、防除	・自動操舵システムによる省力化 ・ドローンによる生育把握、追肥、防除 ・ほ場管理システムによる環境測定
取組内容		・大規模生産を前提とした機械化体系、周年栽培の検討 ・労働生産性の向上 ・効率的な調製、出荷体制の整備 ・利益率の高い取引形態の確立	・地域に適した品種の検討、土壌改良 ・大規模生産を前提とした機械化体系の検討 ・人材の確保と技術習得 ・効率的な調製、出荷体制の整備	・耕作放棄地への大規模サツマイモ栽培拠点の構築 ・先端技術活用によるサツマイモ機械化栽培体系の確立 ・楢葉町産サツマイモのブランド化 ・経営安定化のためのコカブ・ダイコン輪作体系確立	・先端技術活用によるブロックリー栽培体系の確立 ・基盤整備事業農地での作付け安定に向けた地力増進、病害抑制効果の検証 ・農地集積による大規模経営モデルの構築に基づく営農再開促進と地域雇用の創出	・地域の農業者主体の生産組織立上げ ・先端技術を導入したタマネギ機械化栽培体系の確立 ・機械、集出荷施設の効率利用のための最適作型の検証 ・生産性向上に資するタマネギ生産における分業体制の構築	・先端技術導入によるコスト低減、効率化及び省力化の生産方式の確立 ・大規模経営モデルの構築	・ネギ機械化一貫体系の導入による相馬地域における大規模体系の確立 ・先端技術の導入によるコスト低減、効率化及び相馬地域における水稲とネギを両立した生産方式の確立 ・大規模経営モデルの構築
品目		ネギ		サツマイモ・コカブ・ダイコン	ブロックリー	タマネギ	水稲、大豆、タマネギ	水稲、ネギ
成果目標		栽培面積 1年目 10ha → 5年目 50ha	栽培面積 1年目 8.0ha → 5年目 20ha	栽培面積 サツマイモ 1年目 7ha → 5年目 25ha コカブ・ダイコン 1年目 3ha → 5年目 5ha	栽培面積 1年目 29ha → 5年目 80ha	栽培面積 1年目 10ha → 5年目 40ha	栽培面積 1年目 46ha → 5年目 83ha	栽培面積 1年目 30ha → 5年目 40.5ha
取組概要		 自動操舵機能付き管理機の実証	 ほ場管理システムの導入	 自動操舵トラクターによる2台同時協調作業	 リモコン式草刈り機による除草作業	 ドローンによる殺菌剤の防除作業	 可変施肥ブロードキャスターによる可変基肥散布	 自動操舵トラクターによる畝立て、施肥、定植の同時作業
取組概要		 新たな作型の検討(冬季定植、夏取り栽培)	 ハクサイ高性能収穫機の実証	 耕作放棄地に作付けしたサツマイモの機械収穫	 高性能自動製氷機による省力出荷作業	 タマネギピッカーによる収穫作業	 水管理システムによる自動水門	 ネギ収穫機による収穫作業